

南丹市美山町の住民でつくる宮島振興会が、宮島地域内9集落の暮らしや習慣、ルールなどをまとめた移住希望者向けの冊子「宮島田舎暮らし読本」を作った。田舎の良い面だけでなく、少し面倒な面も隠さずに紹介し、移住の「教科書」として活用してもらおう。

田舎暮らしの希望者に読本

美山・宮島地域9集落の住民作成



移住希望者向けに「宮島田舎暮らし読本」をまとめた住民ら
(南丹市美山町島)

特色や習慣「面倒な面」も隠さず

同市日吉町の世木地域や同町北のかやぶきの里が移住希望者向けに発行している「集落の教科書」を参考に編集した。各集落の代表や市地域おこし協力隊員ら約30人が集まって話し合い、地域の自慢や独自ルール、移住者に望むことなどをとりまとめた。

冊子は、9集落の地図や地域資源を紹介したほか、引っ越し後のあいさつや冠婚葬祭の慣習、農業を始める際の決まりごと、草刈りなどの日役（共同作業）、自衛消防団の活動についても詳しく解説している。「集会や日役に積極

的に参加してほしい」といった住民の思いも掲載した。冊子はA5判56ページで、700部発行。移住希望者や住民に配布している。市の定住促進サイト「nanc1a（ナンクラ）」でも配信している。

同振興会の菅生哲二事務局長（59）は「編集の過程で、集落の良さや自慢を再確認できた。冊子で集落のことを知り、納得した上で移住してもらえたら」と話す。

問い合わせは同振興会 ☎0771(75)5100。
(森静香)